

氏名	廣岡克彦
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第877号
学位授与の日付	昭和52年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	小児下肢回旋変形の研究 下肢痛を訴える小児および脳性麻痺児における股関節可動域、大腿骨頸部前捻角、下腿外捻角について
論文審査委員	教授 田中早苗 教授 寺本 滋 教授 木本 浩

学位論文内容の要旨

下肢痛を訴える小児(疼痛群)、精神薄弱児(対照群)、脳性麻痺児(CP群)の股関節可動域、大腿骨頸部前捻角、下腿外捻角を測定し、それぞれの関係およびその年令的推移について検討した。CP群においては病型別において大腿骨頸部前捻角、下腿外捻角について検討した。疼痛群と対照群の間にはそれぞれの測定値に特に有意の差がなかったので、疼痛群と対照群と合わせてCP群に対し正常群とした。

股関節可動域については、正常群、CP群ともに股内旋角の方が股外旋角より大きい。また、股外旋角は正常群では年令とともにわずかに増加しているが、CP群では減少している。

大腿骨頸部前捻角はCP群の方が正常群より大きい。また、正常群は年令とともに減少する傾向が著明である。

下腿外捻角は正常群、CP群に有意の差はみられないが、CP群において片麻痺患側で大きい。

正常群において大腿骨頸部前捻角と股内旋角の間に相関関係があるが、大腿骨頸部前捻角と下腿外捻角の間には相関関係はみられない。

論文審査の結果の要旨

小児下肢回旋変形に関する臨床的研究である。下肢痛を訴える小児および脳性麻痺児について、股関節可動域および大腿骨頸部前捻角、下腿外捻角などについて検索し、従来殆んど検討されていなかったこれらの関係について多くの関連性を認めた点において価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。